

第9回

日本学士院

# 学びのススメ



講演テーマ

「徳川吉宗に学ぶ—日本の宝を守った将軍—」

対象：中学生・高校生・一般



徳川吉宗

徳川記念財団所蔵



岩崎灌園著『本草図譜』より



日本銀行貨幣博物館所蔵



講師

たしろ かず い

田代和生

日本学士院会員  
慶應義塾大学名誉教授

開催日 平成28年12月17日(土)

時間 午後2時30分～

(質疑を含めて1時間程度を予定)

場所 日本学士院会館(東京・上野公園内)

行って、見て、  
発見!



聴講無料  
事前申込制  
(先着150名)

詳しくは裏面を  
ご覧ください。

◆後援：台東区・台東区教育委員会 ◆協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会

◆お問合せ：日本学士院事務局 〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-32

TEL: 03-3822-2101 FAX: 03-3822-2105 e-mail: kouenkai2@japan-acad.go.jp



## テーマ

### 徳川吉宗に学ぶ —日本の宝を守った将軍

#### 【講師】

たしろ かず い  
**田代和生**

日本学士院会員、慶應義塾大学名誉教授



「享保の改革」で有名な第8代将軍徳川吉宗が、海外へ流出していた大切な日本の宝を守ったことはあまり知られていません。「鎖国」時代の国際関係は長崎だけでなく、とくに対馬を経由した朝鮮との貿易では、薬用人参の輸入の見返りに良質な銀貨を長年にわたって支払ってきました。そこで吉宗は、国民に安くこれを提供しようという夢の実現に向かって、誰も挑んだことのない朝鮮人参の人工栽培に取り組みます。数十年をかけた国家的プロジェクトのもと、幾多の失敗にも負けず成功に導いた吉宗には、ある「秘策」がありました。今回は、日朝関係史の舞台裏でくり広げられた朝鮮人参国産化政策のなかから、将軍吉宗の国民に対するひとつの志を学んでいきたいと思います。

#### 【日本学士院及び講師について】

日本学士院（にっぽんがくしん）は、文部科学省に設置された、学術の発展に寄与するため必要な事業を行うことを目的とした機関です。本院は、明治12年に福沢諭吉を初代会長として創設された「東京学士会院」を前身とし130年以上の歴史を有しています。

各分野で高い業績を挙げた研究者が会員として所属していますが、本院ではその研究成果を社会に還元することも学術研究者の一つの使命だと考えています。また、科学離れが叫ばれる昨今、その傾向に歯止めをかけ、将来の日本の担い手となる子どもたちに、今一度科学に対する興味を持ってもらう一助となればと思い本講演会を企画いたしました。

今回講師を務める田代和生会員は、対馬藩主の宗家に伝来した宗家文書をもとに、江戸時代の日本と朝鮮の関係について研究してきました。特筆されるのは、幕藩体制下で行われていた朝鮮との通交と貿易の詳細を実証的に明らかにしたこと、これは学界の動向に先駆けて日本のいわゆる「鎖国」を再検討させる意義を持ちました。その独創性と先見性に富む業績は高く評価されています。主な著書に『書き替えられた国書—徳川・朝鮮外交の舞台裏』（中公新書）、『倭館—鎖国時代の日本人町』（文春新書）があります。

一つの分野を究めた研究者の話聞くことは必ず若い方たちの糧となることと思います。肩肘を張らずに聞ける内容となっておりますので、寒さが厳しい折ではございますが、本院へ足をお運びいただければ幸いです。

#### ◎事前にお申込が必要です（聴講無料・定員 150 名・先着順）

お申込は メール・FAX・往復ハガキ のいずれかでお送りください。  
「学びのススメ聴講希望」と明記の上、住所・聴講者氏名（フリガナ）・電話番号・メールアドレス・中学生/高校生/一般の別を記載してください。後日、本院よりお返事を差し上げます。

※本院 HP (<http://www.japan-acad.go.jp/>) からもお申込できます。

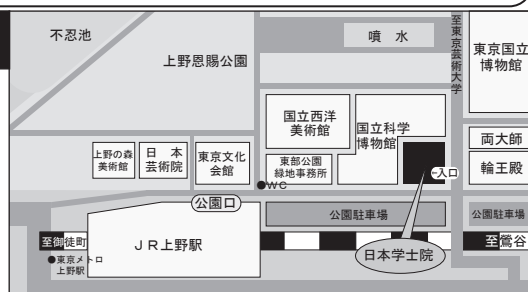
メール kouenkai2@japan-acad.go.jp

FAX 03-3822-2105

〒110-0007  
東京都台東区上野公園 7-32  
日本学士院 事務局

#### 日本学士院 事務局

〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-32 TEL:03-3822-2101



- 会場 ・ JR 上野駅公園口から徒歩 4 分
- 案内図 ・ 京成上野駅から徒歩 8 分
- ※車での来場はご遠慮ください。